

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度		社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標値	実績値						
福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	サロン活動事業助成件数	R2	70	28	評価 D	D	D	D	D
				R3	75	26	総評 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参集形式での地域での集いの場の開催ができず、サロン活動助成件数は著しく減少した。一部地域においては感染対策を実施した上で、地域サロンが開催された。	前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少した。感染対策を万全にし工夫して開催したサロンもあった。	引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少したままである。少しずつ再開に向けた動きはある。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により助成件数は減少したままであるが、再開させるサロンも増えてきた。	R6年度は助成件数が48件から61件へ増加し、回復の動きが見られたが、コロナ禍前の水準には届かず回復途上にとどまった。今後は継続的な取組みと新規立ち上げを後押ししていくことが重要となる。
				R4	80	29					
				R5	85	48					
				R6	90	61					
				単位:件							
	②	サービスの質の確保	地区別懇談会開催回数	R2	22	0	評価 D	D	D	D	B
				R3	22	1	総評 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症が落ちついている時期に開催を計画したが、再拡大により多1か所のみで開催となった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会が1か所のみで開催となった。	新型コロナウイルス感染症の影響が残り地区別懇談会の開催はできなかったが、介護予防サービスの整備に向けて、協議体を14回開催した。	桐生市第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向け、15ヶ所(22地区)で地区別懇談会を開催し、住民の幅広い意見・提案を反映する取組みを進めた。
				R4	22	1					
				R5	22	0					
R6	22	15									
単位:件											
適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	地域福祉通信の発行	R2	12	12	評価 B	B	B	B	B
				R3	12	12	総評 地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策、協議体開催状況について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員を対象に、最新の福祉動向や施策、協議体開催状況について、定期的に情報提供を行った。
				R4	12	12					
				R5	12	14					
				R6	12	14					
				単位:回							
	②	計画の周知	地区別懇談会・協議体活動等を通じた計画及び進捗情報の周知	R2	22	4	評価 D	D	D	B	B
				R3	22	7	総評 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来ず、説明が出来ていない。なお、支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	協議体設置地区において、社会福祉協議会の取り組みについて周知を行った。また、次年度に向けて地区別懇談会開催の準備を実施した。	桐生市第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向け、15ヶ所(22地区)で地区別懇談会を開催し、協議体設置地区においては社会福祉協議会の取り組みについて周知を行った。
				R4	22	1					
				R5	22	6					
R6	22	15									
単位:回											
活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	福祉のまちづくりセミナーの開催	R2	1	1	評価 C	C	B	B	C
				R3	1	1	総評 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参集形式での開催が困難であるため、映像資料を作成した。	新型コロナウイルス感染症対策として参集形式とオンライン配信の併用でコロナ禍での地域福祉活動についてと題してセミナーを開催した。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。	サロンで活用できる健康づくりと実技についてセミナーを開催し、集いの場づくりへの支援を行った。	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのためのセミナーを開催し、予防法や接し方を学ぶことで集いの場づくりへの支援を行った。
				R4	1	1					
				R5	1	1					
				R6	1	1					
				単位:							
②	活動情報の提供	ボランティアの相談支援(登録・マッチング・ニーズ)	R2	220	100	評価 D	D	D	C	D	
			R3	220	93	総評 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れが出来ず、件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が減少した。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が少ないままであった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、施設でのボランティア受け入れ数もわずかに回復し、ボランティア希望者へ助言及び情報提供を行った。		
			R4	220	90						
			R5	220	111						
			R6	220	136						
単位:件											

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

- A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1-4 健康の推進	①	介護予防の普及啓発	生活支援コーディネーターによるサロン支援件数 単位:件	R2	50	22	評価 総評	D	D	C	C	D
				R3	55	21		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域サロンへの参加が出来ない状況であったため、件数は減少した。一方で、再開サロンへの感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止していたサロンの再開にあたり、感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響によりサロンの件数は少ないが、継続しているサロン及び休止していたサロンの再開にあたり、助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、サロンの開催時の助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小する状況においても、サロン開催時には必要に応じて助言及び情報提供を行った。
				R4	60	38						
				R5	65	42						
				R6	70	41						
1-5 災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用	単位:	R2			評価 総評	C	C	C	C	C
				R3				市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍においてほぼ実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、個別避難計画作成に向けて災害時避難行動要支援者名簿を活用した。	市役所、民生委員等と連携し、個別避難計画作成に向けて災害時避難行動要支援者名簿を活用した。
				R4								
	R5											
	R6											
	②	連携・災害時の体制づくり	地域福祉活動推進事業 自主防災事業助成件数 単位:	R2	10	4	評価 総評	D	D	D	B	B
R3				10	3	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小したため、減少した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災情報の周知、防災物品の配布など、新しい形での活動が実施された。		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、地域の自主防災活動はコロナ禍以前に戻りつつある。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、地域の自主防災活動は昨年時点よりコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、今年は昨年を上回る件数となった。	
R4				15	2							
R5				15	14							
R6				15	15							

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標2
支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

- A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談支援体制の充実	①	相談支援拠点の整備	生活福祉資金貸付相談件数	R2	600	3,680	評価 総評	A	A	C	D	D
				R3	700	2,097		生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が大幅に増えた。	生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が増加した。	生活福祉資金貸付特例貸付が、令和4年9月で終了したため、相談件数が減少傾向にある。	生活福祉資金貸付特例貸付が終了したため、相談件数が減少傾向にある。生活福祉資金貸付の相談は増加している。	生活福祉資金貸付特例貸付が終了したため、相談件数、貸付件数ともにコロナ禍前に戻っている。
				R4	800	748						
			単位:件	R6	1,000	495						
	②	連携・協力	個別支援ケースへの相談件数	R2	70	79	評価 総評	A	D	C	B	D
				R3	75	34		地区担当者が制度の狭間にある個別支援ケースへの対応を関係機関と連携・協力し実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別支援ケースの相談が減少した。	本人からの相談が増加し、社協全体で相談体制がとれている。	専門職からの相談が増加し、社協に限らず多職種との連携を実施することができた。	ひきこもりに関する相談も増加し、制度の狭間にあるケースへ多機関で介入できた。
				R4	80	45						
			単位:件	R6	90	73						
地域における権利擁護の推進	①	体制整備・情報発信	福祉サービス利用援助事業の関係機関への周知	R2	10	8	評価 総評	C	C	C	C	D
				R3	10	8		日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議等において、地域包括支援センター等に向けて、また民生委員児童委員協議会役員会にて報告及び情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議や民生委員児童委員協議会役員会にて報告及び情報提供を行った。またSNS及びホームページを活用し、生活支援員の募集を行った。	日常生活圏域連携会議や民生委員児童委員協議会役員会にて報告及び情報提供を行った。またSNS及び機関紙を活用し、生活支援員の募集を行った。
				R4	10	8						
			単位:件	R6	10	8						
	②	制度の利用促進	福祉サービス利用援助事業契約件数	R2	80	88	評価 総評	B	B	B	B	B
				R3	60	102		情報発信により、利用件数が増加した。地域の権利擁護の推進を図ることができた。	新規相談が増加したため、契約件数が増加した。また、みどり市への移管が翌年になった。	みどり市の利用者の多くがみどり市社協へ移管したため、契約件数が減少したが、新規契約数は増加している。	情報発信により、利用件数が増加した。	包括支援センターや施設関係者等から、利用希望者の情報を沢山得ることができ、新規契約者数が増加した。
				R4	65	80						
			単位:件	R6	75	85						
住民同地域でのつながり、生活の充実、住み慣れ	①	交流の支援	地域福祉活動推進事業(サロン事業・自主防災事業・介護予防事業・世代間交流事業)	R2	85	36	評価 総評	D	D	D	D	B
				R3	85	33		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一部地域においては、新しい形での地域福祉活動が開始された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一方、地縁によらない介護予防活動の支援ため、高齢者通いの場づくり応援事業を開始した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、件数が減少したが、再開の準備を進めているサロンも多い。また、高齢者通いの場づくり応援事業の利用は増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により件数が減少したが、再開に向けて動き出すサロンが増えた。また、高齢者の通いの場づくり応援事業の利用は増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響で件数は一時減少したものの、サロン活動は大幅に再開が進みつつある。また、高齢者の通いの場づくり応援事業の利用も増加した。
				R4	85	38						
			単位:件	R6	85	87						
	②	団体との連携	地区担当制事業支部社会福祉協議会活動実績(相談・参加等)	R2	180	147	評価 総評	D	B	B	C	B
				R3	185	288		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域活動の縮小し、件数が減少した。	コロナ禍であっても実施している活動には積極的に参加したため増加した。	コロナ禍であっても実施している活動に、積極的に参加したため増加した。	コロナ後の地域福祉活動の再開や立て直しに向け各地区に出向きサロン等の活動支援を行った。	継続して地域へ積極的に出向き、新規サロンの立ち上げなどを行った。
				R4	190	363						
			単位:件	R6	200	230						

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標2
支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

- A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2-4 地域全体によるネットワーク化の推進	①	社会福祉法人との連携	社会福祉法人・社会福祉施設連絡会の開催 単位:回	R2	10	12	評価 総評	A	C	A	B	D
				R3	10	8		小地域における災害時に關する情報交換会・情報交換会代表者会議を開催し、災害時の応援体制、公益的な取組、連絡会設立に向けた情報交換を実施した。	小地域における災害時に關する情報交換会・情報交換会代表者会議を開催し、災害時など地域における公益的な取組等について情報交換し、社会福祉法人の連携を図った。	連絡会を設立し、連携強化、支援体制を整備した。	有事の際の連絡方法の整備や災害時に活用できる物品等の確認を各地区ごとに実施した。	総走訓練を実施し、地区ごとの連携の確認を行った。また、指定福祉避難所と要配慮者とのマッチングを行い、個別避難計画作成に協力した。
				R4	10	2						
				R5	10	10						
				R6	10	7						
	②	体制整備	地区別懇談会開催回数 単位:回	R2	22	0	評価 総評	D	D	D	D	B
				R3	22	1		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会が開催できず、地域福祉課題解決に向けた検討が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地区別懇談会の開催は1カ所のみとなつてしまつたが、開催準備として支部長等に個別に説明した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1カ所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	協議体設置地区において地域福祉課題の抽出と解決に向けた検討を行った。次年度に協議体未設置地区も含めた全地区での地区別懇談会を開催に向けて、準備を行った。	協議体設置地区で地域福祉課題を把握し、解決に向けた検討を行った。協議体未設置地区を含めた全地区15ヶ所(22地区)で地区別懇談会を開催した。
				R4	22	1						
				R5	22	0						
				R6	22	15						
2-5 ネットワーキングによる支援体制の整備	①	支援体制の構築	個別支援ケースにおける関係機関との連携回数 単位:回	R2	120	153	評価 総評	A	B	C	B	D
				R3	130	153		個別支援機関としての周知がなされ、相談件数が増加した。相談増加に伴い、関係機関とのより一層の連携が必要となり、関係機関との事例に対する検討・対応が増加した。	関係機関に周知したことで、相談件数が増加した。複雑な事例が増えてきているので職員のスキルアップが必要である。	各専門機関の役割や支援内容の理解が深まり、より良好な関わりができています。	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を受託したことにより多職種との連携を意識した支援を実施することができた。	地域医療連携室やケアマネジャーなどと連携の在り方について情報交換を行い、円滑な連携について協議した。
				R4	140	98						
				R5	150	168						
				R6	150	123						
	②	必要な情報の提供	地域ケア会議への参加回数 単位:回	R2	50	54	評価 総評	A	B	B	B	D
				R3	50	65		多職種による個別支援事例・地域課題の検討を図り、地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施した。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。
				R4	50	53						
				R5	50	54						
				R6	50	43						

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標3
地域を支える
人づくり・活動の促進

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
								評価	評価	評価	評価	評価
3-1 の地 た域 め福 祉協 推 進	①	協働の場づくり	地域福祉計画・地域福祉活動計画 打ち合わせ会議 単位:回	R2	6	7	評価 総評	A	D	D	B	B
				R3	6	2		地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を関係機関で行った。	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を行うとともに、初年度の評価を実施した。	地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗について情報共有及び次期計画策定に向けた協議を行うとともに、2年目の評価を実施した。	地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗についての情報共有及び次期計画策定に向けた協議を関係機関で行った。	地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を関係機関で行った。
				R4	6	1						
				R5	6	4						
				R6	6	9						
3-2 市民 活動 の推 進	①	活動の支援	ボランティアの相談支援(登録・マッチング・ニーズ) 単位:件	R2	220	100	評価 総評	D	D	D	C	D
				R3	220	93		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、件数が減少した。若年向けボランティア、勤労世代への働きかけは実施できていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。特に、個人のボランティア登録者数が激減した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減っている。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、全体の件数は増加した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響はほぼ解消し、全体の件数の増加と相談内容の幅が広がった。
				R4	220	90						
				R5	220	111						
				R6	220	136						
	②	情報提供	ホームページやSNS等の活用による情報発信 単位:	R2	5	0	評価 総評	D	D	D	D	B
				R3	10	0		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないこともあり、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残るものの、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供を行った。
				R4	15	0						
				R5	20	0						
				R6	25	28						
3-3 福祉 教育 の推 進	①	学校教育との連携	福祉体験学習の実施件数 単位:件	R2	35	2	評価 総評	D	D	D	C	D
				R3	35	0		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習(車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験)が実施出来ず、講話のみとなり、件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。	福祉体験学習を再開したことにより、市内学校機関からの依頼が増加し実施件数が増加した。	昨年度と比較し、市内学校機関からの依頼が増加し実施件数が増加した。
				R4	35	14						
				R5	35	21						
				R6	35	22						
	②	体験学習機会の提供	福祉体験学習受講者数 単位:名	R2	1,500	48	評価 総評	D	D	D	C	D
				R3	1,500	0		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習(車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験)が実施出来ず、講話のみとなり、受講者数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。	福祉体験学習を再開したことにより、市内学校機関からの依頼が増加し受講者数が増加した。	昨年度と比較し、市内学校機関からの依頼が増加し受講者数が増加した。
				R4	1,500	602						
				R5	1,500	765						
				R6	1,500	823						
3-4 地 域 の 人 材 育	①	担い手の発掘・養成及び情報発信	福祉のまちづくりセミナーの開催 単位:回	R2	1	1	評価 総評	C	C	B	B	C
				R3	1	1		担い手の発掘・養成に向け、福祉のまちづくりセミナーを映像資料を作成した。定年退職者向けの取組及び勤労世代向けに地域福祉活動については、実施できていない。	地域福祉活動計画の理解促進・住民主体による地域福祉活動推進のため開催した。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため参集形式およびオンライン配信を併用した。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。	サロンで活用できる健康づくりと実技についてセミナーを開催し、集いの場づくりへの支援を行った。	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのためのセミナーを開催し、予防法や接し方を学ぶことで集いの場づくりへの支援を行った。
				R4	1	1						
				R5	1	1						
				R6	1	1						